

## 令和8年度地域づくりセミナー～地域とのつながりを意識した取組のために～

令和8年7月3日(金)10:30～15:45 県総合社会教育センター 受講者83名

### 1 内 容

【全体テーマ】 「地域とともにつなぎ、つながり続ける活動とは？」

〈事例発表〉 青森県 PTA 連合会 会長 むなかた 棟方 たけひろ 丈博 氏

弘前大学 人文社会科学部 教授

弘前大学 地域創生本部 ボランティアセンター長 い 李 よんじゅん 永俊 氏

ボランティア書道教室俊文書道会 代表

青森県立八戸第二養護学校 校長 にしざと 西里 としふみ 俊文 氏

#### 【講演要旨】

- こどもたちの笑顔の源はお父さんお母さんや保護者、教職員、そして地域の方々の笑顔と健康にある。こどもたちは家庭や学校だけでなく、地域全体によって育まれる。PTA だからこそできることは、家庭・学校・地域の三者をつなぐ架け橋となることである。(棟方氏)
- だれもが安心して暮らせる持続可能な地域づくりを進めるためには、地域の人たちと顔を合わせ、みんなで議論し、行動に移すことが重要である。大学が市民・行政と連携して災害支援を実践してきた経験からも、みんなで支え合える仕組みをつくり、様々な支援をつなぎ合わせることの重要性が確認された。顔の見える関係づくりや経験の共有が、生きる力につながる。(李氏)
- 個性を認め、お互いを尊重できる社会の実現に向けて、暮らしやすい環境整備が進むこととともに、障がいの有無にかかわらず一人一人が心を通わせ、理解し合い、協力していくことが大切である。(西里氏)

### 2 受講者の感想

- ・ボランティア活動は何をすればよいのか知識がなかったので、知りたくて参加しました。自分が役に立てること、何ができるかを理解することができました。
- ・地域とつながるヒントをたくさん教えていただきました。
- ・どなたも人とのつながりを大切にされていると感じました。人とのつながりはエネルギーだと思いました。
- ・ボランティア活動のつながりを見て知ることができました。できることから始める大切さを実感しました。
- ・熱い思いをもって生きている大人がここにもいる、たくさんいる。何とかみんなに伝えたい。

